

【下伊那赤十字病院 沿革】

昭和24年 9月	下伊那赤十字診療所として鼎町（飯田市）に設立
昭和26年 9月	病床数20床の病院として発足
昭和27年 2月	病床40床に増床
昭和28年 3月	病棟1棟を建築 病床63床に増床
昭和29年11月	下伊那町村会および鼎町の後援により本館を建築
昭和30年 3月	病床数108床に増床
昭和41年 3月	産婦人科病棟新築
昭和42年 3月	給食棟新築
昭和43年 3月	第一病棟新築
昭和44年 2月	病床数128床に増床
昭和45年 3月	第二病棟増改築
昭和49年 2月	松川町から病院敷地を寄贈により取得
昭和50年 5月	松川町（現在地）に新築移転 診療開始（病床数128床）
昭和55年 4月	リハビリテーション科 診療開始
昭和58年 3月	整形外科 診療開始
昭和59年 4月	小児科 診療開始
平成 5年 7月	新館増築 地下1階、地上2階
平成 5年12月	人工透析 開始
平成 6年 7月	泌尿器科 診療開始
平成11年 4月	訪問看護ステーション 開設
平成12年 4月	療養型病床開設134床に増床（一般104床、療養30床）
平成12年 7月	眼科、耳鼻咽喉科の開設
平成12年10月	院外処方全面移行
平成18年11月	新館病棟地下に透析室を移設16床に増床
平成20年 4月	許可病床数を112床に変更（一般66床、療養46床）
平成21年 4月	防災・健診センターの整備
平成21年12月	皮膚科の開設
平成26年 3月	透析室を17床に増床
平成27年 1月	地域包括ケア病床8床を一般病棟に設置
平成28年 2月	地域包括ケア病床を16床に増床
令和 3年 7月	地域包括ケア病床を34床に増床
令和 3年10月	下伊那赤十字病院介護医療院開設（定員34名）
	許可病床数を72床に変更（一般66床、医療療養6床）
令和 5年 4月	精神科、心療内科 標榜
令和 6年 4月	許可病床数を62床に変更（一般56床、医療療養6床）
	肛門外科 標榜取り下げ